

## Economic History of JAPAN

2 units 3rd-year(1st semester)

Makoto Nakajima · PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

**Target)** 日本経済の実像に正しく迫るには、その構造が形成された経過に即して捉える方法が有効である。また将来のあるべき姿を描く上でも、獲得された地点と埋められるべき課題を歴史的に解明する方法が通常採用されている。このように日本経済を歴史的に分析する作業は、優れて現代的関心に基づいている。歴史的転換点に位置する日本経済の針路を探る素材を提供する。

**Outline)** 戦後日本経済の推移を画期ごとに考察し、その構造と特質を明らかにする。

**Keyword)** *Japanese economy, history, economic growth*

**Relational Lecture)** “[Economic History of JAPAN](#)”(0.5)

**Notice)** 専用ファイルを準備し、レジュメ・ノート・関連資料などをまとめて私的なテキストを作成すること。

**Goal)**

1. 第2次世界大戦期以降の日本経済の発展段階とその背景を理解する。
2. 今日の日本経済の構造的特質を理解し、改革課題を理解する。

**Schedule)**

1. 戦後日本資本主義の諸段階
2. 占領体制と「戦後民主化」
3. 冷戦構造と日本の選択
4. 講和と日本経済の再編成
5. 「55年体制」と経済成長
6. 高度経済成長のシステム
7. 産業と階級構成の変動
8. 国民生活様式の変貌
9. 成長方式の破綻と構造不況
10. 構造不況と財政危機
11. 世界資本主義の動揺と調整
12. 国際協調と構造転換政策
13. 日本経済のグローバル化
14. 戦後日本経済の構造と段階
15. 期末試験
16. :

**Evaluation Criteria)** 前期は日本経済史Ⅰ、後期は日本経済史Ⅱで、分割履修ができる。それぞれ、中間レポートと期末筆記試験で単位を認定する。出席状況による成績の補正があり得る。

**Re-evaluation)** 行わない

**Textbook)** 教科書は用いず、レジュメに即して進行する。参考書等を適宜紹介する。

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218908>

**Contact)**

⇒ Nakajima (2218, +81-88-656-7181, [makoto@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:makoto@ias.tokushima-u.ac.jp)) [MAIL](#)  
(Office Hour: (前後期) 月曜日 13時~16時 木曜日 10時~12時)